

自然保育推進事業 活動報告書

1. 社会福祉法人MONDEN会ゆめはうす認定こども園

令和3年度活動概要

(1) コロナ禍における子どもの自然体験確保

コロナ禍以前は同法人の姉妹園門田認定こども園と合同で園から車で約15分、市内にある畑を貸していただき、菜園活動をしていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い密を避け保育をするなかで車での移動や姉妹園との交流等、様々な事に制限がかかるようになり、より安全に菜園活動をするために園庭の一面を整備し畑を作りました。

当園の園庭の広さはさほどではありませんが園庭自体が3区画あり、畑を作るスペースとしては十分確保できました。



5月最初に植えたのはサツマイモ

土を耕して土壌を改良したとはいえ、畑自体も成長するもの
これから畑として年月を経ることで微生物が増え成長していきます
まずは、ヤセた土地でも育つサツマイモを！

次に作ったのは田んぼ

種もみをトレーの上に置いて水をあげ、発芽したら田植えをします。

子ども達にとって初めての経験「こんなのでホントにお米ができるん？」

と、半信半疑



1週間ほどで問題なく発芽☆

そして、そう！廃タイヤの中に防水シートを張り土を入れた田んぼ



更には、タイヤを2段にして棚田にしてみました。

なんだかこれだけで面白くないですか？



仕上げに看板を作成しました。

大きく育つまでに、年下の友達がここで泥んこ遊びをしないように・・・



残暑続く9月

お米が実ってきたのはいいのですが、スズメがつまみ食いをしにきました。

子ども達と話し合い対策をすることに。

「カカシを作る？」「鳥は光る物が嫌いなんよ」と意見交換をしながら、次の日MちゃんがいらなくなったCDを持ってきてくれたので、ヒモで吊るして防鳥対策





見て、ちょんまげの芋



サツマイモ、お米をそれぞれ収穫
脱穀、精米と工程はありますが、報告書の枚数の関係で省略

収穫した2つを使ってクッキング！
サツマイモおにぎりを作って喫食
作る時は真剣な表情
食べている時はこの表情

畑が身近にある事で、普段から作物の
生長を身近に感じ、関心を持って世話
をする。自分たちで調理をして仲間と
一緒に食べる

12月には藁を使ってしめ縄づくり。



当たり前のような事ですが、新型コロナウイルス感染症により仲間と過ごす時間や関わり
が希薄になる中、改めてありがたさを感じる事ができた活動内容になりました。